

げんきとちぎ

“健康長寿とちぎ”の実現を目指して

2025
No.

47



01 からだ新発見

・とちぎ健康21プラン(3期計画)
の策定

03 TOPICS

・百日咳について

事業団インフォメーション

・カスタマーハラスメント対応方針を策定

04 事業団インフォメーション

・とちぎ健康の森工事に伴う施設健診会場についてのお知らせ
・令和7年度 人間ドック変更点のご案内
・人間ドックの昼食メニューのリニューアル
・検診車の更新と装置載せ替え
・ノロウイルス検査のPCR装置を更新
・乳がん検診の超音波診断装置を更新
・労働衛生サービス機能評価認定の更新
・集団健診に関する意見交換・セミナーの開催

・簡易専用水道検査の外部精度管理でSランクを取得
・令和7年度 がん征圧募金記念品が決定!
・FM告知収録について(エフエム栃木 RADIO BERRY)
・JA共済連栃木 目録贈呈式の実施
・令和6年度 募金活動報告



公益財団法人 栃木県保健衛生事業団
Tochigi Public Health Service Association

コチラから
スタート!

からだ新発見

File Number

47



栃木県保健福祉部
健康増進課

とちぎ健康

(3期計画)の
策定

21プラン

栃木県では、「県民一人一人が心身ともに健やかに歳を重ねていくことのできる地域社会の実現」を目指して、「とちぎ健康21プラン(3期計画)」(2025～2035)を策定しました。

「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を基本目標として、3つの基本方向を定め、さまざまな健康づくりの取組を展開していくこととしています。

①県民の健康を取り巻く状況

◆平均寿命(令和2(2020)年) ▶▶▶ 男性、女性とも全国を下回る

男性81.00年(全国平均81.49年)、女性86.89年(全国平均87.60年)

◆健康寿命*(令和4(2022)年) ▶▶▶ 男性は全国を上回り、女性は全国を下回る

男性73.06年(全国平均72.57年)、女性75.36年(全国平均75.45年)

*国民生活基礎調査を用いて算定した値

◆県内市町健康寿命の格差(令和4(2022)年) ▶▶▶ 男性2.94年、女性2.70年

県内各市町の健康寿命は、最も長い市町は男性で80.82年、女性で84.61年、最も短い市町は男性で77.88年、女性で81.91年となっており、その差は男性で2.94年、女性で2.70年となっています。



②計画の基本目標

健康寿命の延伸

	ベースライン(令和2(2020)年)		目標値
	男性	女性	
健康寿命	72.76年	76.02年	平均寿命の増加・平均寿命の増加分を上回る 健康寿命の増加(令和14(2032)年)
平均寿命	81.00年	86.89年	



健康格差の縮小

		ベースライン(令和4(2022)年)		目標値
		男性	女性	
市町健康寿命	下位6市町	78.73年	82.89年	上位4分の1の市町の健康寿命の増加分を上回る下位4分の1の市町の健康寿命の増加*市町健康寿命の県全体値の増加(令和14(2032)年)
	上位6市町	79.86年	84.29年	
市町健康寿命の県全体値*		79.37年	83.58年	

*要介護度2以上の認定者数を用いて算定した値

③計画の概念図

“健康長寿とちぎ”の実現

健康寿命の延伸と健康格差の縮小

●健康寿命の延伸

●健康格差の縮小

生活習慣の改善

- 栄養・食生活
- 身体活動・運動
- 休養・睡眠
- 喫煙
- 飲酒
- 歯・口腔の健康



生活習慣病(NCDs)の発症予防と重症化予防

- がん
- 脳卒中・心臓病
- 糖尿病
- COPD

生活機能の維持・向上

個人の行動と健康状態の改善

□社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上

□自然に健康になれる環境づくり

□誰もがアクセスできる健康増進のための環境づくり

社会環境の質の向上



●こども



●高齢者

ライフコースアプローチを
踏まえた健康づくり



☆女性



☆健く世代



④3つの基本方向における主要施策

個人の行動と健康状態の改善

生活習慣の改善

- ◆ 良好な栄養・食生活と適正体重維持の実践活動の推進
- ◆ スマホアプリを活用した「とちまる健康ポイント事業」の実施
- ◆ 適切な休養や睡眠習慣の重要性の普及啓発
- ◆ 20歳未満の者及び妊婦の喫煙防止対策
- ◆ 不適切な飲酒の防止に向けた環境づくり
- ◆ 歯や口腔の健康に関する啓発と健診の普及 など

生活習慣病の発症予防と重症化予防

- ◆ がんの早期発見・早期治療に向けた取組の推進
- ◆ 脳卒中・心臓病の早期受診の促進と再発・重症化予防の推進
- ◆ 栃木県糖尿病重症化予防プログラムの推進
- ◆ 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の発症予防及び重症化予防の推進 など



社会環境の質の向上

自然に健康になれる環境づくり

- ◆ 減塩や栄養に配慮したメニューや商品の普及
- ◆ 誰もが健康になれる食環境づくりの基盤整備
- ◆ バランスの良い食事の提供や栄養成分表示の推進
- ◆ 自然と身体を動かしたくなるまちづくりや社会活動参加の機会創出
- ◆ とちぎ禁煙推進店の登録拡大 など



誰もがアクセスできる健康増進のための環境づくり

- ◆ 健康長寿とちぎづくり県民運動の展開
- ◆ 健康に関する専門的支援や相談を身近で気軽に受けられる環境づくりの推進
- ◆ 「とちぎ健康経営事業所認定制度」の浸透や認定事業所の増加
- ◆ 事業所への出前講座や相談機会の提供 など

ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

こども



- ◆ 食育の推進や家庭・保護者向けの啓発
- ◆ 運動やスポーツを楽しく実践できる環境整備
- ◆ 生活習慣病に関する健康教育やがん教育の充実
- ◆ 20歳未満の喫煙・飲酒の防止、20歳以上になっても喫煙を開始しない気運の醸成 など

女性



- ◆ 骨粗鬆症検診及び女性特有のがん検診や精密検査の必要性と効果についての普及啓発
- ◆ 飲酒の正しい知識や、飲酒に依存しないライフスタイルの普及啓発
- ◆ 婦人科検診等の実施率向上に向けた取組の支援
- ◆ 若年女性のやせが及ぼす生涯及び次世代の健康への影響や適正体重維持の重要性の普及啓発 など

高齢者



- ◆ 高齢労働者の増加等の多様化する生活スタイルに併せた保健事業の推進
- ◆ 社会参加・社会貢献活動に関する情報や学習機会の提供
- ◆ 認知症高齢者やその家族への支援体制の構築
- ◆ 人生100年フレイル予防プロジェクトの推進 など

働く世代



- ◆ 肥満改善などの適正体重維持、運動習慣定着に向けた取組の促進
- ◆ 喫煙が健康に及ぼす影響や飲酒の正しい知識の普及啓発
- ◆ 若年世代からの健康的な生活習慣の定着の推進
- ◆ 地域保健や職域保健と連携した健康支援 など

1 百日咳について

百日咳とは、百日咳菌を原因とした感染力の強い急性気道感染症です。乳児では重症化するリスクもあります。

日本国内の年間届出数は2025年の診断週第12週時点で4200例です。これは全数把握対象疾患になった2018年以降の第12週としては過去最多です。

栃木県内でも感染が広がっており、百日咳の届出数は2024年の全届出数12件に対し、2025年第1～26週で629件と感染者が急増している状況です。

百日咳の感染者が増加した原因として新型コロナの感染拡大の影響で感染対策が強化され、百日咳などの感染症が流行しなかったことで、百日咳に対する十分な免疫を持つ人が減少したことなどが考えられています。

百日咳の予防として、定期接種の対象年齢（月齢）に達した乳児は早めにワクチンの接種を受けることが重要です。また、定期接種により免疫を得ていても小学校就学前にワクチンの効果が薄まるため、日本小児科学会では任意接種で就学前と11～12歳の2回、3種混合ワクチンの接種が推奨されています。他にも手洗いやマスクの着用などの一般的な感染対策を心がけましょう。

参考：「百日咳の報告が増えています！ / 栃木県公式ホームページ」

「百日咳の発生状況について / 国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト」



事業団インフォメーション

カスタマーハラスメント対応方針を策定

当事業団は、県民の疾病予防と健康保持増進に寄与するために各種健診、検査等を実施するとともに、予防医学の分野における各種の調査研究及び知識の普及啓発等の事業を行っています。今後も、より良いサービス提供のため、当事業団で働く全ての職員の基本的人権を守り、心身ともに健康で安全に働きやすい環境を維持しながら、社会的使命や期待に応えていくため、2025年1月1日付けで「カスタマーハラスメント対応方針」を策定しました。

○当事業団が考えるカスタマーハラスメントとなる行為

- ・暴力、暴言、脅迫等の行為
- ・長電話、居座り等時間的、場所的な拘束
- ・SNSやインターネット上での誹謗中傷等
- ・過剰または不合理な要求
- ・セクシャルハラスメント等の各種ハラスメント
- ・その他これらに準ずる行為

○カスタマーハラスメントへの対応

受診（検）者、利用者様からの苦情等に対しましては、誠意をもって対応いたしますが、苦情等につきましては、職員が所属長等に報告、相談することとしており、カスタマーハラスメントに対しては組織として毅然とした態度で対応します。なお、カスタマーハラスメントが継続する場合は、残念ながら当事業団の利用をお断りする場合があります。また、状況に応じて警察や弁護士など外部の専門家と連携して対応します。

万が一カスタマーハラスメントがあった場合、この方針に沿って対応いたしますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

■「カスタマーハラスメント対応方針」本文は、当事業団ホームページ「情報公開」に掲載しております。

とちぎ健康の森工事に伴う施設健診会場についてのお知らせ

とちぎ健康の森本館は、建物及び空調設備等の「長寿命化工事」のため、現在1F多目的フロアにて開催している【小規模集合型健康診断】の健診会場を、令和7年8月～令和8年2月までコンセーレ(栃木県青年会館)に変更いたします。受診者様には、大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

なお、詳しい日程や会場につきましては、当事業団ホームページ内の【2025年度 小規模集合型健康診断の日程のご案内】をご覧ください。

コンセーレ住所 〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1-1-6

令和7年度 人間ドック変更点のご案内

変更点① 会計方法について

この度、令和7年5月9日より人間ドックの会計方法を、先会計(受付時にお支払い)から「後会計(受診後のお支払い)」に変更いたしました。

【変更前】 先会計(受付時にお支払い)



【変更後】 後会計(受診終了後にお支払い)



お支払いは、現金のほか、各種クレジットカードにも対応しております。

受診の流れをよりスムーズにし、検査項目の追加・変更への対応などお客様の利便性向上を目的としておりますので、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

変更点② 受付時間について

受付や検査の待ち時間短縮のため、受付時間は時間帯ごとの予約制となっております。

指定時間より前にご来場された場合でも、指定時間の方から順番にご案内するため、お待たせすることがございますので、ご了承ください。

当日は「人間ドックのご案内」に記載の指定時間をご確認いただき、ご来場ください。

人間ドックの昼食メニューのリニューアル

令和7年5月から、人間ドックで提供する昼食メニューが新しくなりました。受診者様からの「様々なメニューから昼食を選びたい」というご要望にお応えし、新たに「きのこボロネーゼのビッグペンネ」「まぐろとアボカドのハワイ風ポキ丼」が加わりました。人間ドック受診後のご褒美としてお楽しみください!



きのこボロネーゼのビッグペンネ



まぐろとアボカドのハワイ風ポキ丼

ポキとは・・・刺身を小さくカットしたものを醤油や食用油をベースに作った調味料に漬け込んだハワイのローカルフードのこと。

検診車の更新と装置載せ替え

胃部検診車:あすなろ7号(新規整備)、あすなろ11・15号(載せ替え)

胃部検診車の新規整備と、撮影装置の載せ替え整備を行いました。X線撮影装置にはFPD(フラットパネルディテクタ)を採用し、従来のI.I.DRIに比べ画質が向上し、放射線量を低く抑えて撮影できます。あすなろ7号は事業団で初めて、検診車1台につきFPDを2式搭載した整備となります。



胸部検診車:あおば6号(載せ替え)

胸部検診車のX線撮影装置の載せ替えを行いました。また、検診車の内装を快適性向上のために改装しました。

- ①着替えの待ち時間短縮のため、更衣室の数を2室から3室に増加
- ②待合スペースに設置されているソファは、アルコール消毒液などで掃除がしやすい素材のものに変更



ノロウイルス検査のPCR装置を更新

令和6年9月に便中ノロウイルス検査で使用するリアルタイムPCR装置をバイオラッド社製CFXOpus Deepwellに更新しました。

この装置は精密な温度制御と高度な光学システムを搭載しており、これまで以上に安定した検査結果が得られるようになりました。

ノロウイルスの流行前に準備できたことで、無症状感染者の方からのノロウイルス拡散防止にも備えることができました。



乳がん検診の超音波診断装置を更新

令和7年6月より精度管理の維持・向上を目的とし、集団健診で使用する超音波診断装置を更新しました。

装置はコニカミノルタ「SONIMAGE HS2」です。高性能のプロブ(体に当てる機械)と最新の画像生成機能により、より細かく、より深い所まで観察できるようになります。

また、シンプルなコントロールパネルで操作が簡便になり、検査時間が短くなるので、受診者への負担が軽減されます。



労働衛生サービス機能評価認定の更新

令和7年6月1日付で、公益社団法人全国労働衛生団体連合会の労働衛生サービス機能評価認定の更新を受けました。この制度は、労働安全衛生に基づく各種の健康診断を適切に実施できる機能を有し、かつ、精度管理の優良な労働衛生施設を的確に公平に評価する制度であり、認定期間は3年間です。

当事業団はこの制度がスタートした平成11年に認定を取得して以来、9回目の更新を迎えました。

これからもお客様に信頼される良質な労働衛生サービスを提供するため、体制整備や技術向上に努めてまいります。



集団健診に関する意見交換・セミナーの開催

【令和6年度住民健診担当者意見交換会】

次年度の住民健診実施にかかる意見交換を目的とした「令和6年度住民健診担当者意見交換会」を令和7年3月4日に栃木県教育会館3階大会議室にて開催し、市町の住民健診担当の方々にご参加いただきました。Web予約システムの導入効果についての報告のほか、乳がん検診におけるマンモグラフィ・超音波検査併用方式の有効性についての説明等を行いました。【参加者：18市町35名】



【第8回とちぎ産業保健セミナー】

令和7年3月7日、職域健診担当者向けの「第8回とちぎ産業保健セミナー」をオンライン開催しました。外部講師として公益財団法人福井県健康管理協会 がん検診事業部長 松田一夫様から、「地域、職域を問わず 正しいがん検診をすべての人に」という演題で講演を頂いたほか、次年度の健診・検査の変更点などについての説明を行いました。参加者からは「満足、有意義、次回実施を希望する」などの声が寄せられました。



簡易専用水道検査の外部精度管理でSランクを取得

令和7年3月5日に公表された、一般社団法人全国給水衛生検査協会主催、国土交通省及び環境省 水・大気環境局 環境管理課後援の「令和6年度簡易専用水道検査外部精度管理調査」の結果にて、当事業団が「S」評価を取得することができました。

評価判定が「S」（100点）及び「A」（90～99点）の検査機関は、一般社団法人全国給水衛生検査協会のホームページにて公表されており、今後も検査の信頼性の確保に努めていきます。



令和7年度 がん征圧募金記念品が決定！

今年度のがん征圧募金の記念品が決定しました！
がん征圧募金にご協力いただいた方に、500円を目安に1つ記念品としてお渡ししています。
皆さまのご協力、よろしくお願いいたします。



FM告知収録について(エフエム栃木 RADIO BERRY)

令和7年6月19日、事業団職員がRADIO BERRYにてラジオ収録を行いました。健康に関する告知や検診の受診勧奨などの6種のテーマについて、実際の健診・検査に関わる職員の声で、説得力のある告知になるよう心掛けて収録しました。放送は7月から来年1月までです。皆さまぜひお聴きください♪



JA共済連栃木 目録贈呈式の実施

令和7年8月6日、JA共済連栃木県本部ビルにて、JA共済連栃木 小林本部長様より「健康増進の普及啓発活動支援」目録が贈呈されました。

本目録により、JA共済連栃木様には、令和7年9月6日に実施した「がん征圧街頭キャンペーン」でのノベルティ提供と、健康に関する普及啓発の新聞広告掲載(9月～11月)を支援いただくこととなりました。今回のご協力により、9月のがん征圧月間をはじめ、様々な強化月間・週間の啓発や予防の重要性について、より広く周知できることを大変嬉しく感じております。

今後も、県民の健康の保持・増進のため、効果的な普及啓発活動に努めてまいります。



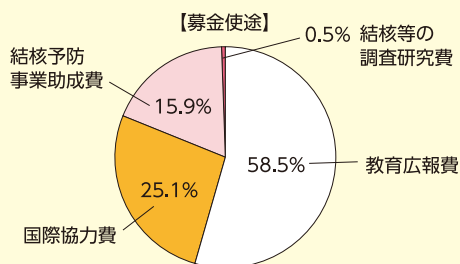
令和6年度 募金活動報告

令和6年度複十字シール募金・がん征圧募金額は下記の通りでした。ご協力、ありがとうございました。お寄せいただいた募金は、結核やがんに関する普及啓発活動に活用しています。

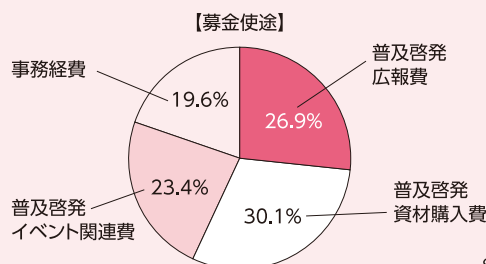
複十字シール募金(全国):404,636,647円
(うち栃木県:1,397,903円)



たすけあインコ



がん征圧募金(栃木県):2,623,911円



とちまるくん©栃木県

今年度も募金活動を実施しています。皆さまのご協力、よろしくお願いいたします。

お知らせ

各種メディアを利用して、健康に関するメッセージや情報を随時発信しています♪

下野・読売・朝日・毎日新聞
にて告知掲出



新聞

エフエム栃木・栃木放送にて
告知CM放送



ラジオ

とちぎテレビにて
45秒CM放送



テレビ

公式Xにて配信中



SNS

健やかな未来のために



公益財団法人 栃木県保健衛生事業団

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1 (とちぎ健康の森3F)
TEL:028-623-8181(代表) / FAX:028-623-8586

食品環境検査所

〒329-1194 栃木県宇都宮市下岡本町2145-13 (栃木県保健環境センター2F)
TEL:028-673-9900(代表) / FAX:028-673-9955

ホームページ <https://tochigi-health.or.jp>

公式X https://x.com/kenko_tochigi



【個人情報の取扱いについて】

本誌を送付させて頂いている皆様のお名前、団体名、事務所名、住所等は、当事業団の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運営しております。個人情報の訂正及び削除をご希望される場合には、お手数ですが健康情報課(028-623-8181)までご連絡ください。